

建築と社会

Architecture and Society

11

vol.97 No.1136

2016

特集予告

12月号…「領域の消失」新しい界隈性と拡張する建築の領域 (仮)

今月の表紙

松本酒造 (1922)



伏見。酒造会社が川のほとりに位置しており、この川はかつての高瀬川で物流を担う重要な交通路であった。

(現在は河川改修などを経て「新高瀬川」となっている)

酒造には、伏見の清らかな水と冬の冷たい空気、そして米や酒を運ぶこの運河が欠かせなかったのである。

そして酒造という営みがつくり出したのは、小さな窓が等間隔に並んだ厳めしい大黒蔵と煉瓦造の倉庫や煙突である。

和と洋と、出自が異なる2種類の建築群であるが、調和した落ち着いた景観を形成している。

(多田正治)

表紙デザイン・撮影 多田正治
(多田正治アトリエ)

特集： 構造を支える人と技術のつながり

目次

【総論】

建築は、みんなで“つくる”—パパ、あの建物つくってんで。全部やないけどな…。— | 村上陸太 10

【各論】

- 1 地盤調査の概要と学識経験者のヒントの活用
—活断層調査の例を通して— | 中島載雄 南坂貴彦 14
- 2 既製コンクリート杭根固め部の品質管理
—未固結試料採取への取組— | 木谷好伸 16
- 3 免震ゴム—免震部材配置計画支援ソフトの開発を通じて—
| 竹内貞光 18
- 4 ベースパック柱脚工法の開発 | 渡辺 亨 萩野 毅 20
- 5 「技術と熱意」—鉄筋機械式定着工法の開発— | 小寺耕一郎 22
- 6 鉄骨造の発展に向けた建築構造用鋼材の開発 | 飯谷邦祐 24
- 7 床ボイドスラブ—サイレントボイド— | 大脇雅直 26
- 8 コンクリート用化学混和剤と出会って今日まで
—偶然か必然か不思議な縁— | 高田良章 28

【編集後記】

連載	会告	第62回工高生デザインコンクール入選者発表—設計課題 私たちのまちのインフォメーションセンター—/2016年建築関係団体合同忘年懇親会/2017年在阪建築関係15団体合同新年交礼会 平成28年度建築工事実務講習会 (本部、東海支部) 第33回茶室見学会大徳寺真珠庵庭玉軒と聚光院閑隠席・榊床席/創立100周年イベント 近代建築見学WALK —大阪の都市景観 再見— (一社)日本建築協会京都支部・(公社)日本建築家協会京都地域会 共催 真澄寺別院 流響院見学会/平成28年3月改正に伴う『民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款』の解説講演会	1 2 3 4
	作品作風	志摩観光ホテルリニューアル工事	6
	gallery	プロセスに潜む美意識 赤西信哉	8
	法令コーナー	都心三宮の再整備 播摩正志	31
	建築と社会を考える	リファイニング建築について 青木 茂	32
	構造の頁	耐震ボックスによる開放的なファサードと耐震性能の両立—一枚方T-SITE— 佐分利和宏 前川元伸 川上沢馬	36
	Member's Forum	U-35委員会企画 talk baton 09 活動報告	38
	information	日伊国交樹立150周年記念 世界遺産 ポンペイの壁画展/国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展/横山大観展—「画は人なり」近代日本画の創始者—/クラナハ展—500年後の誘惑	40
	月間の動き	平成28年9月	42